議題2：教員の多忙化解消に向けた取組について（豊田市提出）

市　名		（1）市における多忙化解消プラン等の策定について	（2）多忙化解消に向けた具体的な取組（部活動除く）	（3）国・県に対しての要望・意見・提言の意向	（4）どのようなスケジュール及び指標で多忙化解消を考えているか	（5）部活動のガイドライン作成の計画はあるか
1	名古屋市	名古屋市教育振興基本計画において、教員が子どもと向き合う時間を確保し、教育活動の充実を図ることを目標に、各種取り組みを進めている。	校務支援ソフトの配信・活用、学校事務センターの運営、学校を支えるマンパワーの充実などの取組を進めている。	指定都市教育委員・教育長協議会などを通し、教員の多忙化解消につながる施策の実施を要望している。	本市では、平成28年度に「教員の勤務実態に関するアンケート」調査を5年ぶりに実施した。平日の勤務時間外の仕事時間は、依然として3時間を超えており、多忙な状況である。	平成29年度、学校代表・教員代表、PTA代表、学識経験者等による検討組織を設置し、部活動の在り方を検討する予定である。
2	豊橋市	・現在のところ策定予定なし	・東三四市合同で校務支援システムをH29年度より導入 ・月1回以上の「事務作業の日」確保	・県の解消プランでは、部活動の縮小をうたっていながら、高等学校の方では、推薦等による優秀な人材の囲い込みは変わらない。この差異についての解消を申し入れ（すでに教育長より県へ伝達済み）	・H29．6．教育長諮問に対する答申を多忙化対策検討委員会（所管委）より提出。（これを受けて具体的な取り組みを協議予定）	・平成24年度　部活動指導の手引き改訂 ・平成28年度　部活動指導の手引き改訂 （朝練習の中止、休養日の見直し、終了時刻の見直し）
3	岡崎市	本年度より「教職員の働き方研究委員会」を立ち上げ、教職員の働き方の実態を把握しながら望ましい働き方を研究しているところである。その答申をふまえて今後、多忙化解消に向けた提言等を行う予定である。	子育て応援の日やプレミアムフライデーなどを活用しながらの定時退庁日の設定。各校における児童・生徒の下校時刻の見直し。校務支援システムの円滑な運用。	定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書の提出。	現時点で期限を区切ったり指標値を設定することは行わず、実態に合わせて多忙化解消に向けた取り組みを進めていく予定である。	中学校長会での部活動申し合せ事項の徹底を図り、その実施状況を確認する。その上で、申し合せ事項の改訂の有無、内容の検討を行う。ガイドライン作成の具体的な計画はまだない。
4	一宮市	多忙化解消の対策を立てる予定はあるが、プランという形で策定するかどうかは決まっていない。	対策を考えていく委員会を組織して、今後考えていく。（勤務の詳細調査やICTの利用等）	多忙化を解消するには、人の配置がなければ無理であるので、教員定数の大幅拡大や事務職員の増加をお願いしたい。	本年度の前半に多忙化の実態と原因の洗い出しをして、ICT利用など予算の裏付けが必要なものは早急に対応策を考える。	校長会を中心に、中学校の部活動のガイドラインを考えている。
5	瀬戸市	検討中	一斉退校日の設定、最終退校時刻の設定 等	今のところなし	検討中	活動回数の上限を市内統一で申し合わせた今後、朝部活の在り方等を検討予定
6	半田市	現在、具体的な計画はない。	新たな取り組みはないが、以前から依頼している以下のことの徹底を行う。 1　会議、行事等の精選、事務の簡略化等、職員の負担軽減に努めること。 2　曜日を決めて定時退校日を定めるなど、在校時間短縮のための学校体制づくりを進めること。 3　在校時間が長い教職員については、個別の面談を実施し、早い時間での帰宅を促すとともに、健康に対する意識の高揚に努めること。	人的措置が必要	特に、スケジュールは考えていない。	現在、具体的な計画はない。
7	春日井市	未定	している	無し	毎年	有
8	豊川市	・多忙化改善委員会を立ち上げ、29年度前期中をめどに策定を進めている。	・定時退校日の設定（月に1回程度）　・年休の取得日数の目標設定 ・在校時間の把握（毎月調査を実施、長時間勤務が続く職員の報告、今後の対応策について校長との面談）　・開校閉校時間の設定（検討課題）	特になし	・今年度半ばに公表周知し、即取り組みを実施。今年度末には在校時間100時間以上の職員を5％未満に（現在全職員11％、中学校23％）	部活動の休養日、朝練習、活動時間など、実効性のあるガイドラインの作成を検討中。

議題2：教員の多忙化解消に向けた取組について（豊田市提出）

市　名		（1）市における多忙化解消プラン等の策定について	（2）多忙化解消に向けた具体的な取組（部活動除く）	（3）国・県に対しての要望・意見・提言の意向	（4）どのようなスケジュール及び指標で多忙化解消を考えているか	（5）部活動のガイドライン作成の計画はあるか
9	津島市	今後の状況をみて、検討していく。	スクールカウンセラーや特別支援教育指導員等の専門スタッフを市独自で配置。市内全小中学校に地域学校支援本部を設置し、地域が学校を支援できる体制づくりを図る。	市単独の要望等は考えていないが、様々な機会を捉えて要望をしていきたい。	今後の状況をみて、検討していく。	未定
10	碧南市	現時点では考えていない。	平成29年度より各小中学校に校務業務を定期的に支援するスクールヘルパーを派遣している。	現時点では考えていない。	平成30年度までに、在校時間が月80時間を超過している教員の割合を現状数値の半減以下を目指し、平成31年度までに0％を目指したいと考えている。	県のガイドライン策定がなされた後、市独自のガイドラインが必要かを検討する。
11	刈谷市	未定	校務支援ソフトを活用して事務の効率化	事務量の削減	在校時間調査による勤務時間削減	未定
12	豊田市	・豊田市教職員多忙化解消プランの年内策定に向けて専門委員会を行い、専門家や教職員等の意見を取り入れて策定する予定	・研修の精選（e－ラーニングに移行したり、複数の研修を統合することで、約20回／年の出張研修を削減） ・学校訪問の要項に、多忙化解消に向けた学校独自の取組を記載 ・学校評価ガイドラインの評価項目に多忙化解消に向けた業務改善を追加 ・学校事務の共同実施の推進 ・土日の部活動の時間も含めた在校時間管理の徹底 ・特色ある学校づくり推進事業による専門スタッフや教員業務補助員の配置 ・コミュニティ・スクールの推進 ・市教委による情報の集約及び活用による、各学校の調査等の負担軽減	・各種調査の大幅な削減 ・県主催の研修の削減若しくは参加についての弾力的対応 以上の2点については強くお願いしたい。	・県の目標に準じ、在校超過時間80時間を平成32年2月調査で0％になることを目指す。そのために、多忙化解消に向けた段階的な取組を実施予定	・多忙化解消プラン策定専門委員会と並行して部活動ガイドライン策定専門委員会を行い、専門家や教職員等の意見を取り入れて策定する予定
13	安城市	今年度、検討委員会を立ち上げ策定していく予定	これまでの取り組みとしては、スクールアシスタント事業の導入、小学校4年生までの少人数学級の実施、校務支援ソフトの導入による事務軽減	特になし	今年度中に3回の会合を開き、来年度の方針を決定する予定	あります
14	西尾市	未定	各学校で、教育活動・業務全般について、「整理」「コンパクト化」「助け合い」の視点から見直す。また、学校訪問で各学校の取組状況を確認し、指導助言するとともに、各学校の成果評価・改善案を集約し、次年度以降の取組に反映する。さらに、校長会の多忙化解消検討委員会と連携して取組の検討を進める。	未定	平成29年度は、各学校で実態に応じた取組を進め、年度末までに成果評価・改善案の立案を行う。市教委は学校の状況を集約するとともに、情報共有を図る。平成30年度から32年度は、年度ごとの県の指標を目指し、改善案の取組を進める。	有
15	蒲郡市	平成29年度末とりまとめに向けて検討中	各学校の校長の学校運営の目標に「業務改善」「支援員との協働によるチーム学校体制の構築」等を設定するように協力依頼。市教委と問題意識を共有して、学校段階でも業務改善が進むよう働きかけている。	学級定員数の改善（30人以下規模学級）、養護教諭の複数配置、SCやSSWの県費での配置、日本語支援教員及び特別支援教育支援等の課題別の加配措置や定数改善等	県教委の示した「多忙化解消プラン」の目標と合わせてスケジュールを考えています。	平成29年度に県が策定する部活動ガイドラインの動向も見据えながら、平成29年度末向けて策定していく計画である。

議題2：教員の多忙化解消に向けた取組について（豊田市提出）

市　名		（1）市における多忙化解消プラン等の策定について	（2）多忙化解消に向けた具体的な取組（部活動除く）	（3）国・県に対しての要望・意見・提言の意向	（4）どのようなスケジュール及び指標で多忙化解消を考えているか	（5）部活動のガイドライン作成の計画はあるか
16	犬山市	策定中である。策定目標は、H30年3月としている。	市教委からの素案をもとに、校長会との共同作業部会（多忙化解消検討部会）を立ち上げ、プラン策定の作業に入っている。部活動のガイドラインの確定を先行させているが、併行して、「教員の多忙化解消に向けての対策及び働き方改革を目指した新たな提言」をまとめている。部活動のガイドライン以外で方向性が確定してきているものは、夏季休業中の閉校日、道徳の記述式評価によって作業量が倍増するであろう通知表の新フォーム作成などがある。	県が策定した「教員の多忙化解消プラン」に示されている文書に従って、手当の拡充（教職調整額・部活動手当　等）、教職員定数の改善、専門スタッフの拡充に対して、他市町村と立場を同一にして要望をしていきたい。	「教員の多忙化解消に向けての対策及び働き方改革を目指した新たな提言」に示している内容を中心に、早期に完了できるものは具体的な手法を実行していくように、校長を指導している。多忙化解消検討部会としては時間軸を、①夏休みまでに完了②来年度から実施③完了までには時間を要する　と、3段階に分けて取り扱っている。	夏休み以降に公開できるガイドラインの策定が最終段階を迎えている。H27年度に、事務協議会内の5市町14中学校で申し合わせ事項を作成していたので、今年度のここまでの作業がスムーズである。 ＜概要＞ ・休日・平日の適切な休養日（第3日曜日の取り扱い） ・1年生の入部までの基本路線 ・犬山市部活動指導員設置要綱を規則に格上げ ・部活動指導員（40名）のさらなる増員・待遇改善・権限拡大 ・長期休業中の活動ルール　　など
17	常滑市	検討中です。	個別の支援が必要な児童生徒を支援する学校生活支援員の配置や校務支援ソフトウェアの導入により、多忙化解消につなげたいと考えております。	現段階では考えておりません。	検討中です。	ありません。
18	江南市	考えている。	取組がある。	考えていない。	【スケジュール】4月：校長会で提示。5月：教育委員会で提示し、意見を伺う。6月：5月の意見を踏まえ、校長会、教育委員会で提案。 【指標】短期的に実効性のある取り組み、長期的に実効性のある取り組みとして策定し、教育委員会と学校が一体となって今後も検討を加えながら、多忙化解消に向けての方針を推進していく。	ある。
19	小牧市	策定について検討中	検討中	現時点では考えていない	（1）とあわせて検討	（2）とあわせて検討
20	稲沢市	平成29年度中に策定予定	定時退校日の設置 夏季休業中の学校閉校日の設置 年次休暇の取得促進	特になし	29年10月の定例教育委員会をめどに策定し、多忙化解消に向けては29年度から各学校で取り組めるところから取り組んでいく	週2日以上（土日のいずれか半日のみの活動、平日に1日休養日を設ける）
21	新城市	県のものを利用	学校ごとの対応となっている。以下の対応をしている学校がある。 ・午後8時閉門 ・土日勤務の禁止			計画していない。平成29年4月より以下の通り変更した。 ・朝練習禁止 ・例年4月開催の中小体連主催の春の大会中止
22	東海市	多忙化解消検討委員会にて、部活動についてのガイドラインの策定を進めている。	本年度5月に多忙化解消検討委員会を立ち上げた。 教職員対象のアンケート調査により実態を把握し、提言、取組を進めていく予定である。	現時点で具体的な要望等はないが、全県で歩調を合わせて進められる（進めるべき）取組については、取り組めるとよいと考える。 ※例えば、長期休業中の学校閉校方式や開錠・施錠時間の設定など	本年度は部活動についてのガイドラインの策定・施行をし、次年度に向けて検討委員会において多忙化解消に向けての具体的な取組について検討、提言し、できることから実施していく。	本年度1学期中に策定し、2学期に施行する予定である。

議題2：教員の多忙化解消に向けた取組について（豊田市提出）

市　名		（1）市における多忙化解消プラン等の策定について	（2）多忙化解消に向けた具体的な取組（部活動除く）	（3）国・県に対しての要望・意見・提言の意向	（4）どのようなスケジュール及び指標で多忙化解消を考えているか	（5）部活動のガイドライン作成の計画はあるか
23	大府市	プラン策定は考えていない。	教職員と教育委員会事務局職員で構成するプロジェクトチームにて、取り組みを検討中。	考えていない。	プロジェクトチームは、今年度中に取組案を策定する予定。	休養日の確保や朝練習の規制について、教育委員会から保護者及び各校長へ通知済み。
24	知多市	未策定	教育委員会主催の研修会や出張について精選ないしは運営の方法を見直し教職員の負担軽減を図る。	部活動指導員制度について、早期実施のため予算措置をお願いしたい。 多忙化を解消するためには、長時間労働の是正に向けた在校時間の適正化や業務改善、部活動の負担軽減だけでは、県が掲げる平成31年度在校時間付き80時間超教員を0にするのは難しいと思われる。近年問題になっている保護者のクレームや虐待、ネグレクトなど、本来家庭の問題まで、教員が深く関わらなければならないことも教員の多忙化の大きな原因である。教員数を増やすことや家庭の問題はSSW等に任せるなど業務自体を削減するなど、抜本的改革をお願いしたい。	まず、部活動を見直し、負担軽減を図っていきたい。具体的には、県の提言に加え、朝の部活動や休日に行われる各種大会等の見直しを行っていきたい。その後のスケジュールは未定。指標については、県のプランの目標値を目指していきたい。	未定
25	知立市	検討予定	会議の削減	検討中	今後検討予定	ない
26	尾張旭市	策定していません。	策定していません。	尾張旭市としての要望の提出はありませんが、少人数学級の拡大など、各団体からの要望として提出しています。	スクールソーシャルワーカーや市非常勤講師等人的配置の拡大による支援や、会議や業務の精選等による事務負担の軽減などを図っています。	ガイドライン作成の計画はありませんが、平成25年度の文部科学省の「運動部活動での指導のガイドライン」に基づき、健康面や安全面等について部活動取組の方針を示し、適正に部活が運営できるよう各学校へ通知をしました。
27	高浜市	未策定	・　各校に於いて、会議のあり方などを見直す。 ・　市教委関係の会議のあり方を見直す。 等	現在のところ、単独での要望・意見・提言については考えていません。	検討中です。	検討中です。
28	岩倉市	県のプランに沿って、①長時間労働の是正に向けた在校時間管理の適正化、②業務改善に向けた学校マネジメントの推進、③部活動指導に関わる負担の軽減、④業務改善と環境整備に向けた取組の4項目を設定してプランの策定を進めている。現在は具体的に内容を検討している段階であり、校長会とも協議しながら実効性のあるプランになるよう進めている。	・夏季休業期間中の学校閉校日の設定（8月12日～8月15日） ・週休日や祝日および平日夜間の留守番電話への切替 　これら以外についても、多忙化解消プランの4項目それぞれに「各学校の取組」「教育委員会の取組」の項目を設けて、多忙化解消を図る取組を進める方針である。	・多忙化解消のためには人的配置の拡大が欠かせない。そのための予算措置を国や県には要望したい。学級編制基準や教職員定数の見直しもまた改善が望まれる。	・今年度中に多忙化解消プランを策定する。評価については、具体的な数値目標の設定は考えていない。 ・各学校から報告される在校時間調査の結果を指標とする。その他、学校評価の項目に多忙化解消に関する項目を設けるように検討を進めている。それも指標としたい。	多忙化解消プランの中に部活動の項目の中にガイドラインを設ける計画である。具体的には次のような内容を検討している。 ・　週2日は休養日を設ける。 ・　週休日はいずれか1日を休養日とし、活動は4時間以内を目途とする。 ・　大会等でやむを得ず、週休日に2日間とも活動する場合は、代替の休養日を設ける。 ・　長期休業中の週休日は原則として休養日とする。また平日の活動も4時間以内を目途とする。 ・　年末年始の休日及び夏季休業中の会議等をもたない期間は休養日とする。 ・　年間のうち最も日没の遅い時季も、午後6時までには活動を終了する。 ・　複数の顧問で分担し、一人当たりの負担軽減を図る。

議題2：教員の多忙化解消に向けた取組について（豊田市提出）

市　名		（1）市における多忙化解消プラン等の策定について	（2）多忙化解消に向けた具体的な取組（部活動除く）	（3）国・県に対しての要望・意見・提言の意向	（4）どのようなスケジュール及び指標で多忙化解消を考えているか	（5）部活動のガイドライン作成の計画はあるか
29	豊明市	現在、策定中	現在、多忙化解消検討委員会の設置を検討中	現在、検討中	本年度より、豊明市多忙化解消検討委員会の設置を検討中。検討委員会にてスケジュール及び指標を決定していく予定。	本年度より、他市町（愛知地区）と連携しつつ、多忙化解消検討委員会の設置を検討中。検討委員会にてガイドラインの作成の有無を決定していく予定。
30	日進市	現在検討中	現在調査中	特に考えていない	今年度中に各校へのヒアリングなど意見集約を行う。	策定予定
31	田原市	・市独自のものの策定は予定していない。「多忙化解消検討委員会」の設置予定。県の「教員の多忙化解消プラン」に沿って、進めていく予定である。	・ノー残業デーや一斉退校日の推進 ・在校時間の適正な管理に合わせた教員一人ひとりの働き方の見直し ・働き方・休暇の取り方など職員のアイデアを出し合う機会の設定	・特に予定はしていないが、機会があれば、「教育内容及び授業時間の削減による教員と子どもの時間的余裕の創出が一番である」と要望したい。	○平成29年度に実態の把握と教員の意識改革への働きかけ 「多忙化解消検討委員会」による実態把握と具体策の検討 ○平成30年度に在校時間の減少に向けての個人目標・学校目標の設定と実践 ○平成31年度に在校時間月80時間超過教員ゼロの実現	・市校長会での申し合わせで動いており、現在のところガイドラインの作成は考えていない。
32	愛西市	策定予定	・毎月定時退校日の設定 ・会議での提案資料をサーバーで一元化して管理	予定なし	各種調査を通して、市内の多忙化の現状を知り、年度末に向けて多忙化解消に向けた取り組みを考えていく	計画あり
33	清須市	未定	関係部局からの作品提出依頼及び諸行事参加要請について精査する。	スクールソーシャルワーカー、語学相談員などの専門指導員の配置の拡充。	毎年、段階的に会議などを簡素化にする。	未定
34	北名古屋市	4/12教育委員会　北名古屋市　教員の多忙化解消計画（案）所管事項報告 4/13市校長会議　北名古屋市　教員の多忙化解消計画（案）意見照会 4月策定　北名古屋市　教員の多忙化解消計画	現在のところ具体的な取組みはありません。	特にありません	達成すべき目標 平成30年度までに月80時間を超過している教員の割合：現状数値の半減以下 平成31年度までに月80時間を超過している教員の割合：全校種0% 平成32年度までに月80時間を超過している教員の割合：全校種0%継続	2/27教育委員会　運動部活動での指導のガイドライン（案）北名古屋市版 3月策定　運動部活動での指導のガイドライン　北名古屋市版
35	弥富市	現在は、策定を検討していない	様々な分野（特別支援教育支援員・心の相談員・情報教育・学校図書・専科講師）で支援員を配置している 発達障害児への支援として、H29より特別支援相談員を雇用し、各校を支援巡回する体制とした	教職員の定数増等を要望	これから検討していく	これから検討していく
36	みよし市	・時期は未定だが、県の「教員の多忙化解消プラン」をもとに、策定を考えていきたい。	・市内小中学校において、月に一度「さんキューDAY」として、ノー残業デーを位置づけている。 ・各小中学校において在校時間管理の徹底を行っている。	・要望機会があれば、その都度35人学級の拡大や調査関係書類の精選などの要望を提言していきたい。	・現在の市内教員の現状を確認し、具体的なスケジュールや方策を示していきたい。	・現在では市校長会で部活動実施についての取り決めを設定しているが、部活動のガイドライン作成計画について、現在のものをベースに作成を考えていきたい。
37	あま市	昨年度、夏に各学校で実践可能なことをあげてもらい、2学期から実践をしている。校長会等で情報交換をしている。プランの策定については今のところ考えてはいない。	会議の時間の短縮、定時退校日の定着を図る。教員の在校時間を正確に調査し、80時間超過教員のラインケアをする。	多忙化解消には「人当て」が必要。教職員定数についての見直し、非常勤等加配職員の増減及び市雇用の教職員の対する補助金等について要望をしたい。	今年度、本市の1中学校が県の「多忙化解消プラン」取組実践校となり、民間経験者の方等からアドバイスをうけながら、業務改善を進めている。それを市内全体に広めていくことを考えている。	部活動については、海部地区全体で取り組んでおり、ガイドラインを作成する予定

議題2：教員の多忙化解消に向けた取組について（豊田市提出）

市　名		（1）市における多忙化解消プラン等の策定について	（2）多忙化解消に向けた具体的な取組（部活動除く）	（3）国・県に対しての要望・意見・提言の意向	（4）どのようなスケジュール及び指標で多忙化解消を考えているか	（5）部活動のガイドライン作成の計画はあるか
38	長久手市	考えていません。	夏休み中の行事のない日の学校完全閉校の導入（H29試行、H30実施）	考えていません。	県のプランにならうことを考えています。	愛知地区（豊明市、日進市、東郷町、長久手市）で平成29年度中にガイドライン作成、平成30年度から実施予定。